

三浦半島自衛官募集相談員会夏季集会支援

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、8月29日（土）、「横須賀西地区納涼花火大会」において、三浦半島自衛官募集相談員会の夏季集会を支援した。

「横須賀西地区納涼花火大会」は、横須賀市が陸上自衛隊武山駐屯地協力のもと、駐屯地で毎年行っている行事であり、三浦半島の夏の最後を締めくくる大変人気の高い花火大会である。

三浦半島自衛官募集相談員会は、会員相互及び家族間の親睦を深めるために花火大会で毎年夏集会を行っている。同事務所は、例年8月までの募集実績を報告するとともに、今後の募集に対する協力を依頼している。

当日は、この季節では珍しい肌冷えの中であったが、駐屯地内は多くの人が訪れ、太鼓やブラスバンド演奏、盆踊りなどで賑わい、花火が上がると相談員からは歓声が上がっていた。

横須賀地域事務所は、「今後も、協力団体と親睦を深めてゆき、防衛基盤の拡充を図ってゆく」としている。



横須賀西地区花火大会花火の様子

～防衛大学校神奈川父兄会に対し防衛講話を実施～

神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、9月5日（土）、自衛隊神奈川地方協力本部において防衛大学校神奈川父兄会に対し防衛講話を実施した。本講話は、毎年9月に本部長を講師として催してきたもので、防衛大学校神奈川父兄会員のみならず、在学中の現役防大生にも人気が高く、39名が参加した。

講話では、「抑止とは」と題し、抑止力の意義や本部長の職種である潜水艦について分かりやすく説明し、好評であった。

講話終了後の意見交換会では、ご子息の学生生活の近況、新父兄会員に対する父兄としてのアドバイス等、活発な意見が交換され、防大OBのご父兄の話の中に「学生時代に一番ありがたかった物は、おふくろの手紙」と当時を振り返る場面もあった。多くの父兄会会員からは「非常に勉強になった」、「次回は是非実施してほしい」等の意見を聞くことができた。

神奈川地本では、「今後も、神奈川県父兄会の方々のご理解・ご協力をいただきながら募集を始め諸活動を積極的に実施していきたい」としている。



本部長の話を熱心に聞く
防衛大学校神奈川父兄会員